

中野区 見守り活動通信

第2号

インタビューを実施しました!

昨年の見守り協定事業者懇談会からおよそ1年が経ち、区と見守りに関する協定を締結している事業者様のなかから、今回は3事業者の方にご協力いただき日頃の見守り活動について深くお話を伺いました。

(株)セブン-イレブン・ジャパン

総合渉外部 西東京ゾーン

行政担当 星野氏



株式会社セブン-イレブン・ジャパン

●「どうかなさいましたか?」の声掛けから始まる見守り活動

区内のセブン-イレブン各店は、地域の皆さまの身近なお店として、来店されるお客様のことを気にかけてながら、接客対応や清掃、商品整理などの業務を行っております。お届けサービスをしている店舗でも、お届けの際にお客様と会話しながら、その様子にも気を配っています。また、地域の安心安全のため、チェーンの垣根を超えた「セーフティステーション活動」も実施。様子が気になる方への「どうかなさいましたか?」の声掛けから始まるさりげない見守り活動にチェーンとして取り組んでいます。

●区役所に連絡したことも…

最近では、お店からご自宅まで帰ることができなくなってしまったお客様のために、区の民生児童委員担当の部署へ連絡したことがありました。その連絡により適切に対応することができました。

●これからも地域に根差した見守りを

区内の各店は、地域で必要とされるお店を目指して日々ご商売に取り組んでおられます。これからも地域とのつながりを大切にする、常にお客様に関心を持って変化に気づくことが、日ごろの見守りにつながっていくと考えています。今後もさまざまな商品やサービスを通じ、地域との関係を築いていきたいと思っております。

東京都水道局

●独自のマニュアルを活用した見守り

ライフラインとして区内23万給水件数を中心に、検針や水道料金の徴収等の業務を行っています。直接お客様と関わることは少ないですが、検針等でご自宅に伺った際、水道使用量は正常値か、郵便物が溜まっていないか等独自の観点からのマニュアルにより異変の発見につなげています。

●水道使用量から異変を発見

最近では、水道使用量が通常の数値を超えていたお客様の異変を発見し、最寄りのすこやか福祉センターへ繋いだケースがありました。

●悪質訪問販売が頻発しています

水道使用量から安否を確認することもあります。毎年開催している区の防災訓練で水質検査のイベントも行っています。最近ではコロナの状況を悪用し、水道局員を装った悪質訪問販売が頻発しています。水道局員が自宅を訪問し、水質検査をすることはありませんので、ご注意ください。今後も区と連携しながら見守り活動を行っていききたいと思います。



左から中野営業所所長 寶澤氏

杉並営業所課長代理 山崎氏

中野営業所収納担当責任者 本地氏



中野新井郵便局

●情報を共有した見守り

郵便、貯金、保険に関わる窓口業務を行いながら、お客さまの体調面に注意したお声かけ等積極的な見守り活動を行っています。お客さまからご家族の認知症が進み、成年後見人について相談したいというお話も受けることもあります。その際には、中野区社会福祉協議会や最寄りの地域包括支援センターでの取り組みを案内できるように中野区からの情報をまとめて郵便局内で共有しています。

●特殊詐欺の防止

過去には窓口で貯金の払い戻しにいらっしゃったお客さまの対応をしたところ、不審な点があり、特殊詐欺だと気づきました。適切な対応をしたことで被害を未然に防ぐことができました。

●商店街にある郵便局として

商店街にある郵便局という特色を活かし、縁日やお祭りの際には参加し商店街の方々とのコミュニケーションを大切にしています。今後もこういった活動を通して見守り活動に繋がればと思います。

見守り協定シールができました！



昨年の懇談会で皆様からいただいたご意見を参考に「見守り協定シール」が令和2年2月に完成いたしました。

中野区見守り協定事業者の目印となりますので、ご活用ください。

今回訪問した3事業者様のお店の入り口や事業用車に貼っていただきました。



東京水道局中野営業所



セブン-イレブン



中野新井郵便局

★見守り活動中に異変にお気づきの際は、お近くのすこやか福祉センターへご連絡ください。

様子がおかしい、心配と思われる方がいた場合は、お気軽に区の4つのすこやか福祉センター（アウトリーチチーム）にご相談ください。協定事業者の方と協力し、例えば来店された時にさりげなく様子を見させていただくなど、何らかのアプローチの手法を探し、必要な支援を行います。

【編集後記】今回、初めて各協定事業者さんへインタビューを行いました。実際に現場に伺うことで、各事業者の見守り活動を深く知ることができました。個人的に今後、協定事業者さんの店舗等を利用する際、そんな気遣いに注目してみたいと思いました。次号も、協定事業者様へインタビューをさせていただく予定です。(M)